

社会福祉法人中信社会福祉協会
地域サポートセンター 地域連携推進会議録

1 日時 令和8年3月9日（月） 15時00分から15時50分まで

2 場所 グループホーム さつき

3 構成員

利用者代表 1名（体調不良のため欠席）
地域の方 3名（山形村下竹田区長、民生委員）
地域の方 1名（グループホームさつき地主）
職員 2名（センター長・さつき担当職員）

4 議事録

(1) 開会

(2) サポートセンター長あいさつ

(3) 構成員自己紹介

(4) 趣旨説明

地域連携推進会議の概要、目的について説明

(5) 中信社会福祉協会の概要説明

ア 中信社会福祉協会の概要、各施設・事業所の説明

イ グループホーム「さつき」の開所から、現在の入居状況、利用者の日常生活の様子、世話人の業務などを説明

(6) 事業報告・事故ヒヤリハットの報告

(7) 施設内見学（いっきゅう）

(8) 質疑応答

○ グループホームに在住している利用者さんたちの現住所はどうなっていますか？（区長）

→ 大半の方がグループホームに住所を移しているため、現住所は山形村です。（センター長）

○ 年齢層はどのようなのですか？グループホームに入れる基準はあるのですか？（民生委員）

→ 一番高齢の方は、「さつき」で生活をしている79歳の女性です。一番若い方は今年松本養護学校を卒業する18歳の男性です。なるべくどんな利用者でも受け入れをしようと思っていますが、場所によっては障害区分の制限があります。障

害区分は1～6まであり、数字が大きくなるほど重度になるのですが、今現在、空床のグループホームにはスプリンクラーがないため障害区分が3以下の方でないと、というグループホームもあります。

○ 世話人さんの業務はどんなものですか？1人体制で仕事をしているのですか？
(区長)

→ 世話人は食事の提供・掃除・洗濯・利用者の健康観察、時には相談相手など利用者の母親的存在です。重度の方がいるときは2人で対応することもあります。現在、「さつき」の利用者は比較的自立度が高いため、1人体制でみています。
(センター長)

○ グループホームから通所先へ通うときはどうやって通所しているのですか？

→ 日中の通所先の施設や事業所が出している送迎車があり、それを利用して通所をしています。

→ 災害時の避難場所は下竹田公会堂でいいですか？(センター長)

○ 上手(わで)は、まずこの上にある広場が第一避難場所になります。そこから下竹田公会堂に集合することになっています。上手(わで)の住民はグループホームが開設される際、説明会があったため、グループホームの存在も認知されていることに加え、理解もあります。発生時、最初にどこに集まるのか、次の町会の会議で相談してみようと思います。

山形村の地形は、扇状地であり、北側に下っていることから北側に土砂が流れていきます。大雨や土砂災害のときは山形村役場や小学校に避難することは危険だと思います。(区長)

○ 川が2つあるため、過去に氾濫したことが2回ほどありました。現在は川が氾濫しないように整備もされており、比較的災害が少ない場所だと思います。

本日は、お忙しい中お集まりいただきありがとうございました。(センター長)

(9) 閉会

以上